

小学校1年生～3年生の部

*作品は原文のまま掲載しています。

宮城県知事賞

交通安全について

大崎市立古川北小学校 三年 村上 ゆい か

一学きに交通安全教室がありました。そこでは、けいさつかんの方から、小学生の交通事この話がありました。自てん車にのる事が多くなると、交差点でのとび出し事が多くなるそうです。ブレーキをかけず、左右も見ないで交差点にとびこみ、車とぶつかつてしまった事この話がありました。とてもこわいなと思いました。

私のお母さんも危ないことがあります。小学生の時間におうだん歩道をわたる時に、左右をよくかくにんしないでわたったら、よこから走ってきた車の下になってしまったそうです。お母さんはたすかりましたが、一歩間ちがえていたら私も生まれていなかったかもしれません。

お父さんからは 自てん車にのる時は、必ず止まって左右を見るように」と言われています。でもあそびに行くとき、時々止まらずに左右をかくにんすることがあります。早く遊びに行きたいからです。わたしは いつも大丈夫だから、今日も大丈夫だろう。車は来ないだろう。」と思って自てん車にのっていました。でも、それは間ちがい、毎回安全はかくにんしなければいけないということがわかりました。また、とび出しがきけんだということも学びました。自てん車にのって遊びに行くとき、ついついそいでしまい、左右をかくにんしないことがあります。わたしはこれから必ず止まって左右をかくにんするようにしたいです。

交通安全教室でも、止まった時の方が事にあうかくりつがひくくなるということを知り、けいさつの人に教えてもらいました。これからは、交差点で止まることを面どうに思わせず、今度から必ず止まって左右かくにんをしようと思えました。ほんのちよつと注意するだけで、事はふせげるのだと思います。自分にできる交通安全をすることによって、自分の命を守つていきたいです。

わたしのお父さんは、よくお酒をのみます。お酒をのんだ時には、トイレに行く時でもフラフラしています。よくテレビでいん酒うんでんという言葉を聞きます。もし、お父さんがこんなにお酒をのんだじょうたいで車をうんでんしたら、きつとどこかにぶつかつてしまうと思います。だから、お酒をのんで車をうんでんすることはぜつたいによくないと思います。いん酒うんでんをする大人がいたらぜつたいにやめるようにしてもらいたいです。

宮城県警察本部長賞

ぼくのこうつうあんぜん

気仙沼市立津谷小学校 二年 菅原 暖 希

ぼくは、毎日兄とあるいてつうがくしています。つうがくする時に気をつけていることが三つあります。

一つ目は、しんごうをまもることです。かならず青しんごうになってからわたるようになっています。

二つ目は、おうだんほうどうは左右を見てからわたることです。しんごうが青でもきちんと左右をかくにんしてからわたります。

三つ目は、みんなでほうどうをあるときはひろがらないようにすることです。ほかの人のじゃまになったり、しゃどうにでないようにきをつけています。

でも、あそんでいきけんなこともあります。ぼくは、じてん車がすきで、よく兄とじてん車であそびにいきます。たのしくてスピードをだすぎてしまい、きゆうブレーキをかけても間に合わず、さくにごつかつてしまったことがあります。また、車がきたことに気づかずおどろいたこともあります。じてん車はあるくよりスピードがでるので気をつけてのらなければいけないとおもいました。なのでぼくはこうつうあんぜんのために大切なことはみんながルールをきちんとまもることだとおもいます。また、ゆずりあう気もちが大切だと思います。前にしんごうがないおうだんほうどうで車がみちをゆずつてくれたことがあり、とてもうれしい気もちになりました。

ぼくは、これからこうつうルールだけではなく、学校生活でのいろいろなきまりをまもつて、友だちとなかよくたのしくすごしていきたいです。

令和4年度宮城県交通安全ポスター作文コンクール入賞作品【作文の部】

小学校1年生～3年生の部

*作品は原文のまま掲載しています。

宮城県教育委員会教育長賞

交通安全んぜんの大切さ

大崎市立古川北小学校 三年 森川 ゆいな

わたしは、夏休みに、お父さんとお母さんと弟と車で山形へあそびにむかっています。山形にむかうためにお父さんが、高速道路をうんでんしていました。そのときわたしは、とてもこわい体けんをしました。どんなことかというところ、お父さんがうんでんしている車の前を、大きなトラックが走っていました。そのトラックの後からとつ然てつの大きなかたまりが落ちてきました。お父さんは、大きな声で「あぶない。」と言って車をいどうしましたが、よけられずそのつのかたまりに車はぶつかりました。お父さんの車はそのつのかたまりをふんで、「ガン。」という音がしてガタンゴトンとゆれました。わたしの体は前におされたあとに、こんどは、いすのせもたれがわに体がおされていきました。お父さんの車は走りつづけていたけれど、だんだんガタガタゆれはじめると、「ゴゴ。」と車が、何かにあたっているような音がしたために、道路のわきへとめました。わたしは、何がおきたのだろうと、とてもびびりました。お父さんは家ぞくのみんに「車の外に出て。」と言ったので外に出ました。外に出ると車のタイヤの空気がぬけてやぶれていました。車の前がわのぶひんは、外れていました。外にでるとたくさん車が、スピードを出して走っていくのを見ました。わたしは、近くで走っている車を見て、とてもこわくなって、ブルブルと体がふるえて、ないてしまいました。スピードをだす車を目の前で見て、みんなにぶつかってこないかなと心ばいになったからです。

わたしは、この体けんをして、きをつけなければいけないあと、おもったことが、二つあります。まず一つ目は、車の中ではシートベルトをきちんとつけることです。交通安全んぜん教室で、シートベルトをつけることは、自分の車のせきから、体が投げ出されないように守ってくれるのだと、教えてもらったことがあります。自分の身を守るためには、シートベルトをつけることがとても大切だと思いました。

二つ目は、道を歩く時や道をわたる時、前や後から走ってくる車がいなかったり、右左をよく見ておうだんすることが大切だと思いました。わたしは、三年生になつて一年生の弟や二年生の友だちと、道を歩くことがふえました。みんながあんぜんに道を歩いたりわたりたりできるように交通ルールの大切さをつたえていこうと思います。

一般社団法人 宮城県交通安全協会会長賞

とまってくれた車におじぎ

富谷市立日吉台小学校 二年 今のこうき

ぼくは、とまってくれた車におじぎをします。なぜするかというと、とまってくれた車に、ありがとうとつたえたいからです。

でも、友だちはあまりしていません。どうしてしないんだろうと思いました。めんどくさいのかなと思いました。

父がおしえてくれました。おじぎをしてくれると、うんでんしている人はうれしくて、あたたかいきもちになり、これからもとまってあげようと思うそうです。

つまり、ぼくのおじぎが、友だちをまもることになります。これからもしたいと思いました。

小学校1年生～3年生の部

* 作品は原文のまま掲載しています。

宮城県PTA連合会長賞

守ろう交通ルール

加美町立東小野田小学校 三年 塩田 樹

ぼくは、4年生になったら自転車で学校に通いたいです。なぜかと言うと、お兄ちゃんが自転車で通っていたからです。お兄ちゃんは、交通安全をちゃんと守っていたので、一回も交通事故をしたことはありません。ぼくも、安全に通えるように交通ルールを守ります。

さいしよに、歩くときのルールです。道路を歩くときは、右がわを歩きます。右を歩けば車が来るのがわかるからです。そして、一人で歩く時は、一れつで歩きます。道路がせまい時にならんで歩くと、車ぶつかりそうになるからです。

おうだん歩道のしん号が青になっても、すぐにわたつては、いけません。右左を見てから手を上げてあるきます。道路の向こうに友だちがいてもきゆうにとび出してはいけません。

次に、自転車のルールです。自転車にのる時は、自分を守るためにヘルメットをかならずかぶります。たまに、お父さんに自転車の点検をしてもらいます。

自転車にのる時は、道路の左がわをスピードを出さずに走ります。おうだん歩道をわたる時や、せまい道であぶないと思つたら、自転車からおりて歩きます。

4年生になったら、交通安全教室でちゃんと勉強します。そして交通安全ルールをしっかり守つて、自転車で小学校に通つたり、家そくみんなで色んな所に、サイクリングに行きたいです。